

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第5126965号  
(P5126965)

(45) 発行日 平成25年1月23日(2013.1.23)

(24) 登録日 平成24年11月9日(2012.11.9)

(51) Int. Cl.		F I			
HO 1 J 61/52	(2006.01)	HO 1 J	61/52		B
HO 1 J 61/35	(2006.01)	HO 1 J	61/35		C

請求項の数 1 (全 7 頁)

(21) 出願番号	特願2007-326452 (P2007-326452)	(73) 特許権者	502154452
(22) 出願日	平成19年12月18日(2007.12.18)		株式会社東通研
(65) 公開番号	特開2009-151954 (P2009-151954A)		東京都豊島区要町1-29-11
(43) 公開日	平成21年7月9日(2009.7.9)	(73) 特許権者	599137312
審査請求日	平成22年12月13日(2010.12.13)		田中産業株式会社
			埼玉県さいたま市中央区本町西4-16-15
		(74) 代理人	100091306
			弁理士 村上 友一
		(72) 発明者	鈴木 淳一
			東京都豊島区要町1-29-11 株式会 社東通研内
		審査官	高藤 華代

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 水冷式紫外線照射装置

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

紫外線を照射する高圧放電管と、  
内管と外管からなる円筒状に形成し、前記内管と前記外管の間に流水スペースを設けて、前記高圧放電管を前記内管の中心に配置して前記高圧放電管を覆う保護管と、  
 を備えた水冷式紫外線照射装置であって、  
前記外管の外表面に被膜したSiO<sub>2</sub>上にHfO<sub>2</sub>およびY<sub>2</sub>O<sub>3</sub>の被膜層を多層形成したことを特徴とする水冷式紫外線照射装置。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は特に、紫外線硬化インキに紫外線を照射して硬化させる水冷式の紫外線照射装置に関する。

【背景技術】

【0002】

一般に印刷に用いる主なインキは紫外線硬化(UV)インキと油性インキがある。このうち紫外線硬化インキは、インキ(顔料)、モノマー、プレポリマー、重合開始剤、増感剤等からなり、200nmから400nmの波長域である紫外線を照射して重合開始剤を励起させてインキを硬化させている。紫外線硬化インキは油性インキと比べ速乾性があり、有機溶剤を含まないことから印刷分野で多用されている。